

三小だより

新潟市立新津第三小学校

NO. 1

令和4年4月12日(火)

「やさしく かしこく たくましく」

校長 川合 千尋

今年度も、あたたかな日差しの中で木々が芽吹き、新津第三小学校が、新1年生121名を迎え、全校児童756名で令和4年度をスタートしました。

新津第三小学校の教育目標は「やさしく かしこく たくましく」です。小学校の教育目標でよく見られるのは、「知・徳・体」の並びに合わせることが多いように感じています。それに準じると「かしこく やさしく たくましく」となるわけですが、新津第三小学校は「やさしく」が一番最初にきています。それはなぜなのかなあと自分なりに想像を巡らしてみました。

そもそも「やさしく」できるためにはどんな力が必要なのか考えてみました。例えば、困っている人に手をさしのべる、そのためには困っている人に気付かなければなりません。そのためには相手の様々な事情を想像し、考える力が必要です。それだけでは難しいでしょう。相手の様々な事情を推し量るには、それに係わる様々な情報が必要です。すなわち幅広い知識と教養です（かしこく）。しかし、これだけは頭で分かっているても実践できるかどうかは分かりません。手をさしのべる際に、自分の事情も係わってくるからです。自分にゆとりがあるでしょうか？相手へマイナスの感情が強くあったらどうでしょう？「やさしく」を実践するためには、自分の行動や自分の気持ちをうまくコントロールし、継続的に力強く推し進める必要があります。（たくましく）

そんな風に考えを巡らせると、「やさしく」が一番最初にきている理由がなんとなく分かる気がしてきました。私の勝手な想像でしかありませんが、新津第三小学校を築いてきた先人の思いを感じたような気がしました。こんなことを考えていると、改めてシンプルで深い教育目標だと感じました。他にも様々な受け止めができる教育目標だと思います。

保護者や地域の皆様にも、この教育目標と子どもたちの姿を思い描きながら、子どもたちが「やさしく かしこく たくましく」育っている様子を見ていただき、「よくがんばっているね！」「こんなことができるようになったんだ！」と、その成長を価値付けていただけるとたいへん嬉しく思います。そうしたまなざしが「やさしく かしこく たくましく」育つ子どもたちを強く後押しすることになると信じています。今年度もどうぞよろしくお願いたします。